

【作り方説明書】

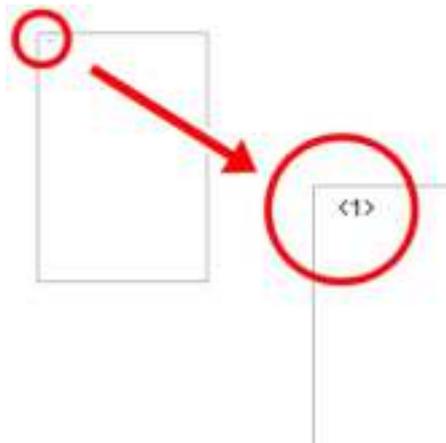
UネックTシャツの型紙

<p>■詳細対応サイズ</p> <p>・58cm ソフビ M,L,LL (スマド未確認)</p>	<p>■難易度</p> <p>イージー / 【ノーマル】 / ハード / ハード↑ / エクストラ</p>
<p>■サンプル使用生地の厚み</p> <p>0.67mm</p>	<p>■用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニット等のストレッチ性のある布 ・ニット用の糸 ・ニット用の針 ・面ファスナー
<p>■手縫い可否</p> <p>OK</p>	<p>■注意事項</p> <p>布の伸び具合によっては、LやLLは着られない場合があります。LやLLに着せたい場合は良く伸びる布を使用して下さい。伸びない布を使うと、どのサイズでも着用不可になりますのでご注意ください。</p>
<p>■布に書き写すパーツリスト</p> <p>①前身頃 1枚→そのまま1枚 ②③後身頃 2枚→左右反転して2枚 ④⑤見返し 2枚→ // ⑥襟 1枚→そのまま1枚</p> <p>合計：6枚 のパーツで構成</p>	
<p>■必要な布量参考数値</p> <p>【UネックTシャツの型紙 58cm】 横90,110,140cm</p>  <p>縦23cm</p> <p>前身頃 後身頃 袖 見返し</p>	

01. 型紙を貼り合わせる

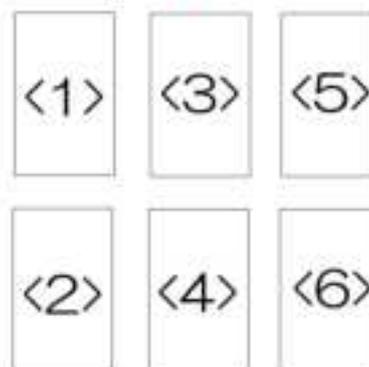
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

〔番号は型紙の左上に記載。
 ※①～④の右図は全型紙共通で 使用しています。
 型紙の種類によって貼り合わせる 枚数、
 数字は違います。
 枚数、貼り合わせ数字については
 各型紙をご覧ください。〕



② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

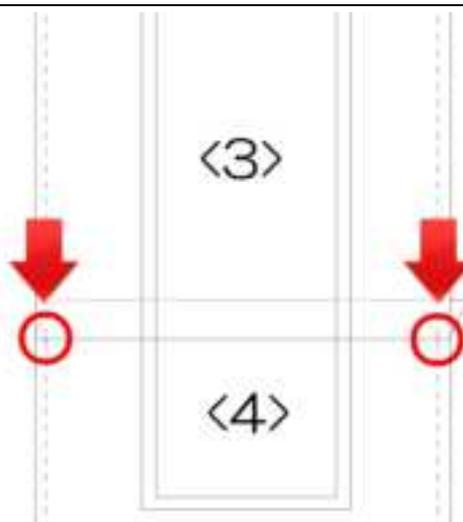
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」
 という箇所に記載。〕



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

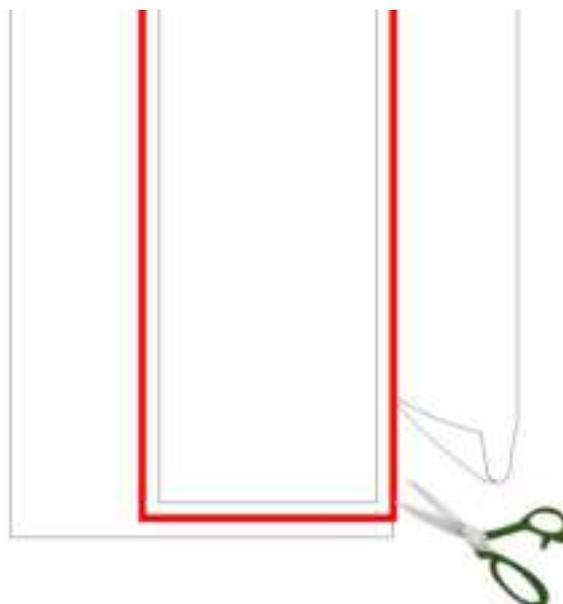


④ <5>の上側のガイドに③の下部を合わせて、表裏両方をテープで留める。



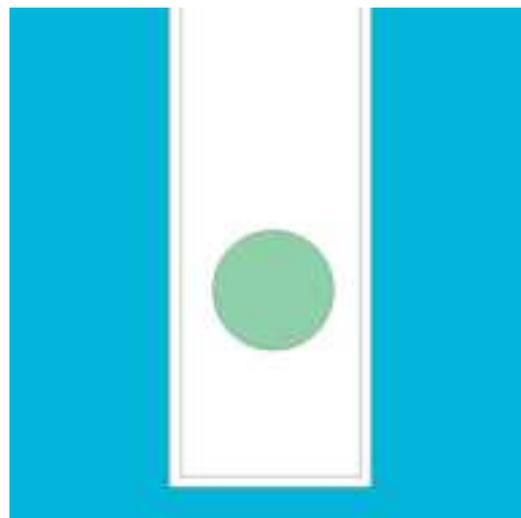
02. 型紙を切り取る。

02~07 の右図は全型紙共通で使用
しています。



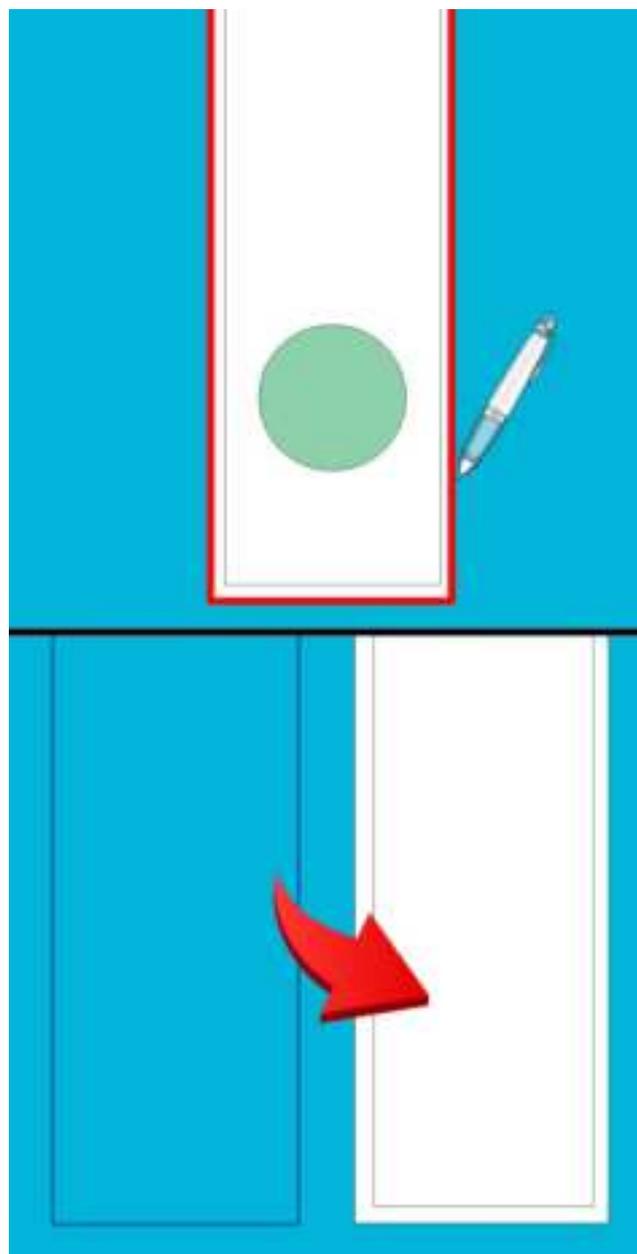
03. 布を裏にして型紙を置く。

〔まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。〕

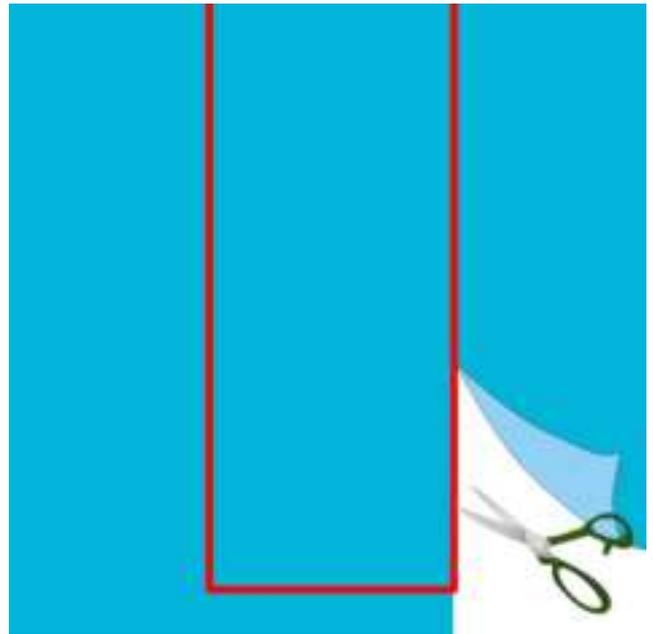


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

〔※オススメのチャコペン
・カリスマシャープペンシル(使用中)
・クロバー 水性チャコペン〕

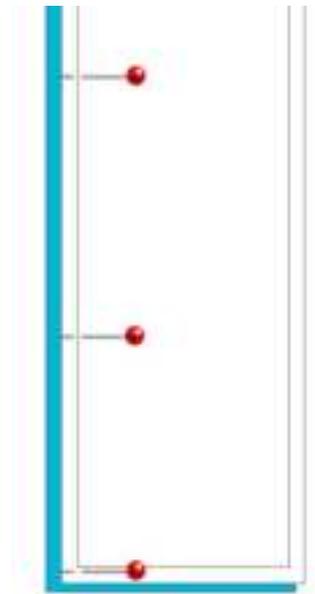


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔型紙と布がずれないようにするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

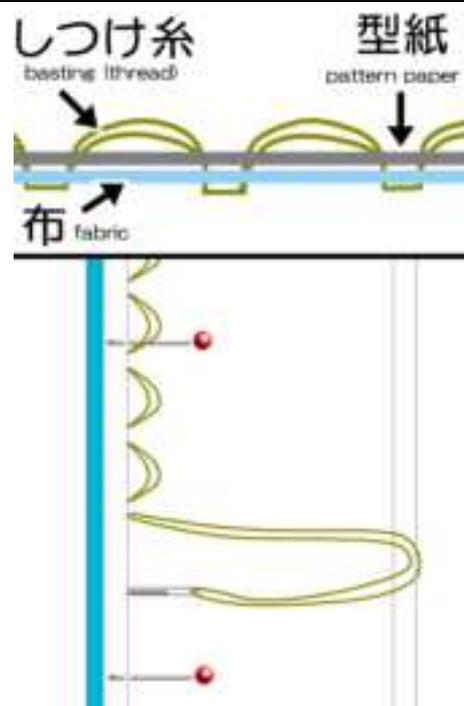
- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。
〔玉止めはしない。〕



- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

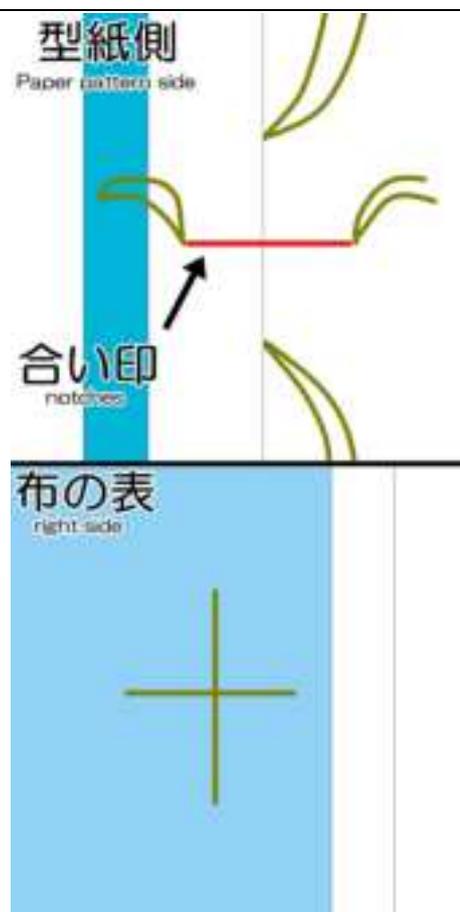
- A. 型紙から刺す
B. 布を刺す
C. 0.3cm 程度すくうように縫う
D. 型紙を刺す
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕

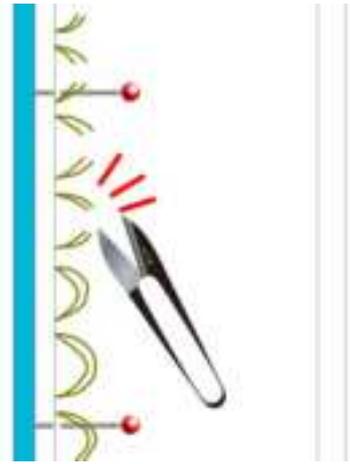




- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

〔糸を抜き取らない様に注意。〕



- ⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。



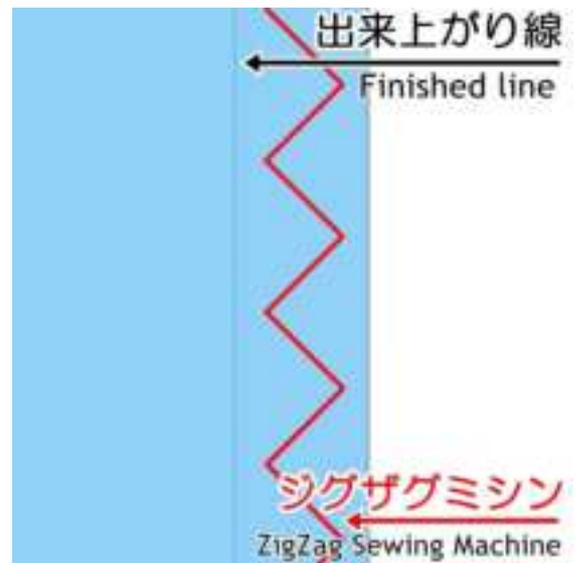
08. ミシンの針と糸をニット用に替える。



09. 後身頃×2の背中側と見返し×1、袖×2の袖口に、ロックミシンか家庭用ミシンのシグザグで縫う。

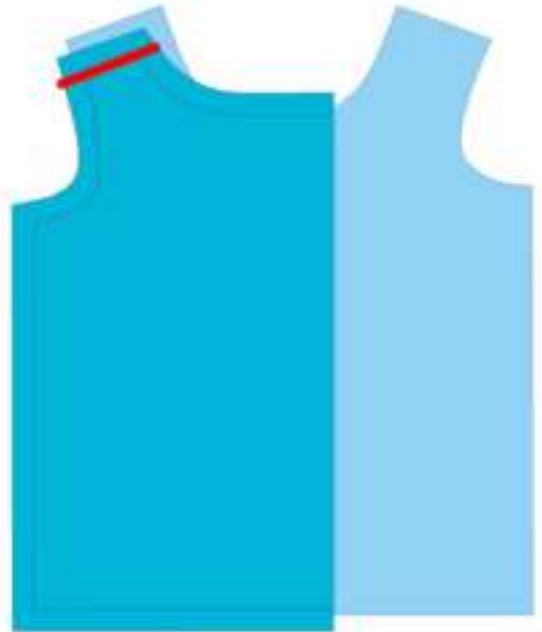
- 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。
布端から針が落ちないように、少し内側を縫う。





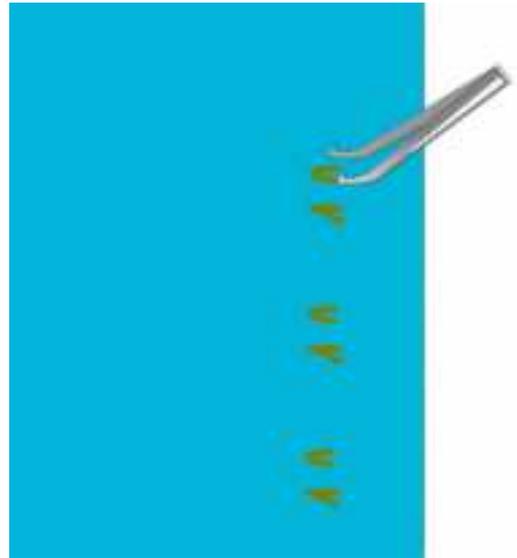
10. 表が内側になる様に、
前身頃と後身頃の肩を合わせて縫う。

- SNP：サイドネックポイント。肩の首の付け根。
- SP：ショルダーポイント。肩の頂点。
- 反対側も同じように縫う。



11. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

〔しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕

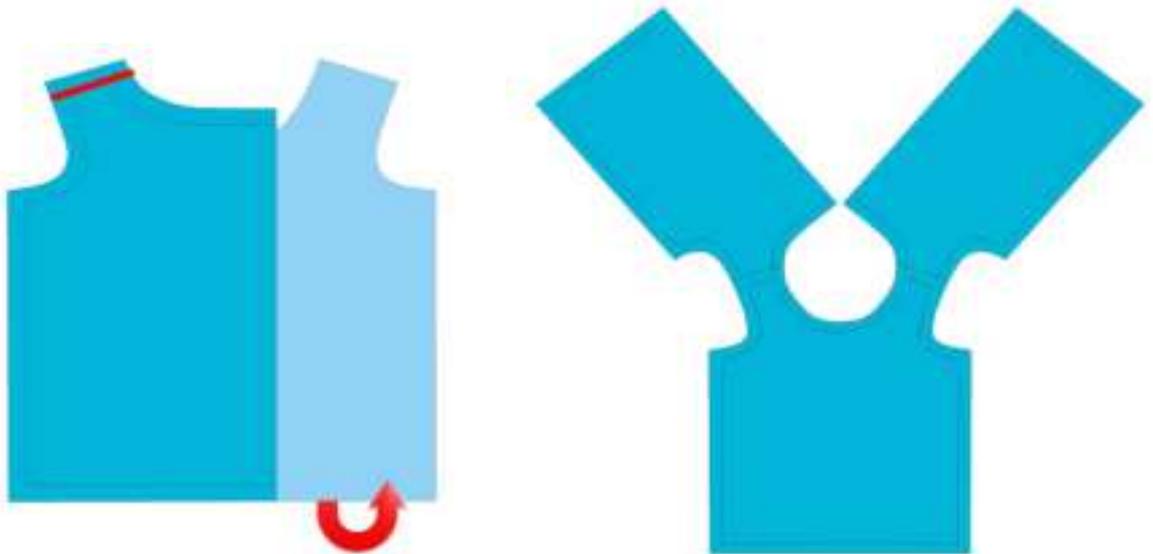


12. 肩を2枚一緒にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。

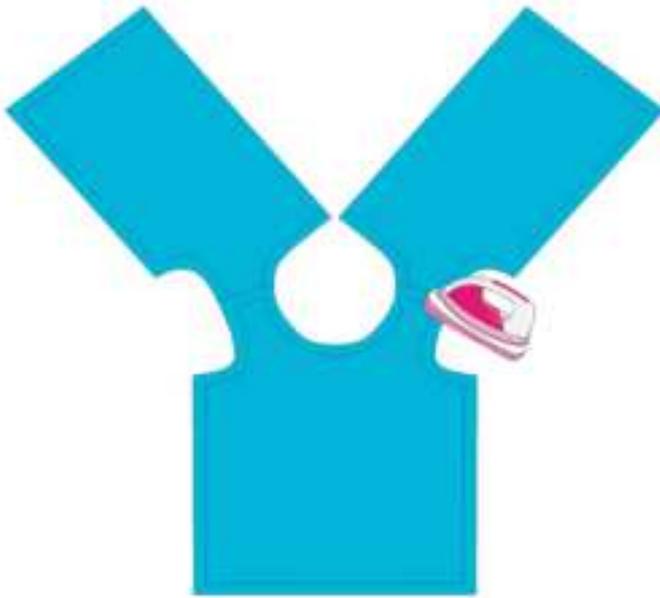
〔反対側も同じように縫う。〕



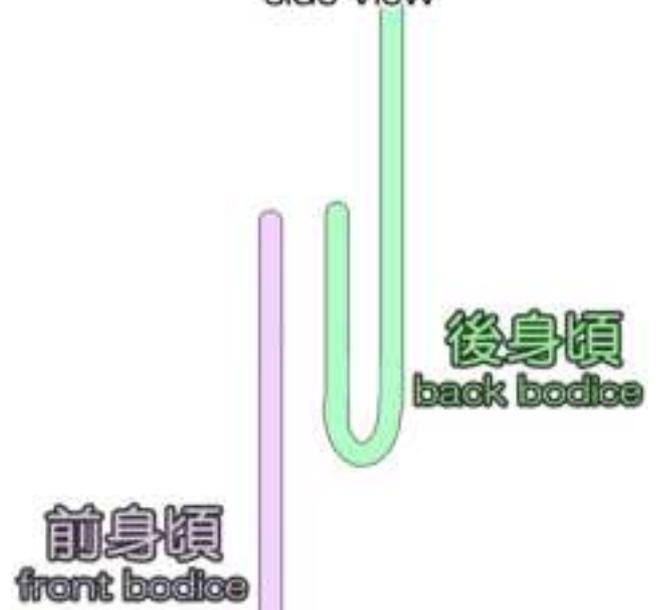
13. 身頃を開く。



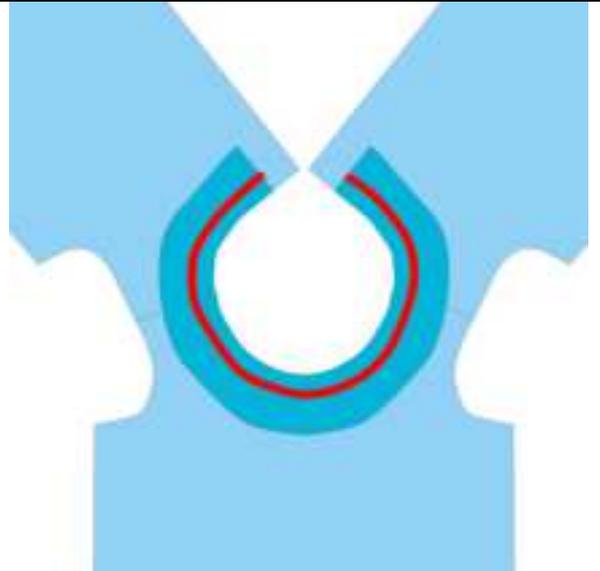
14. 肩にアイロンをかける。
〔縫い代は後身頃側に倒す。〕



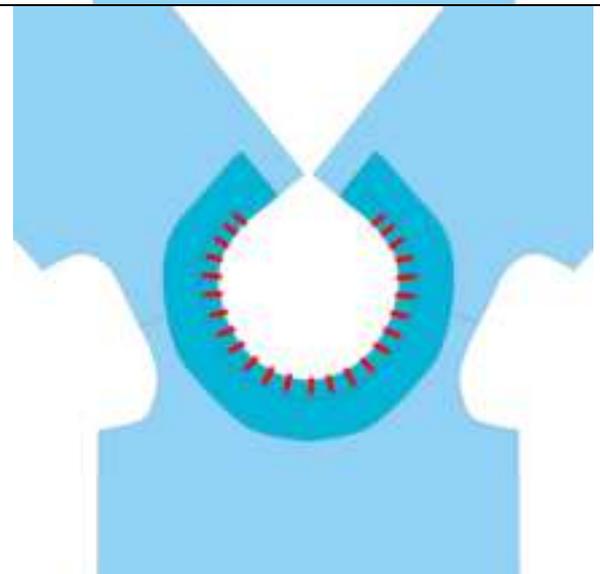
横から見た時
side view



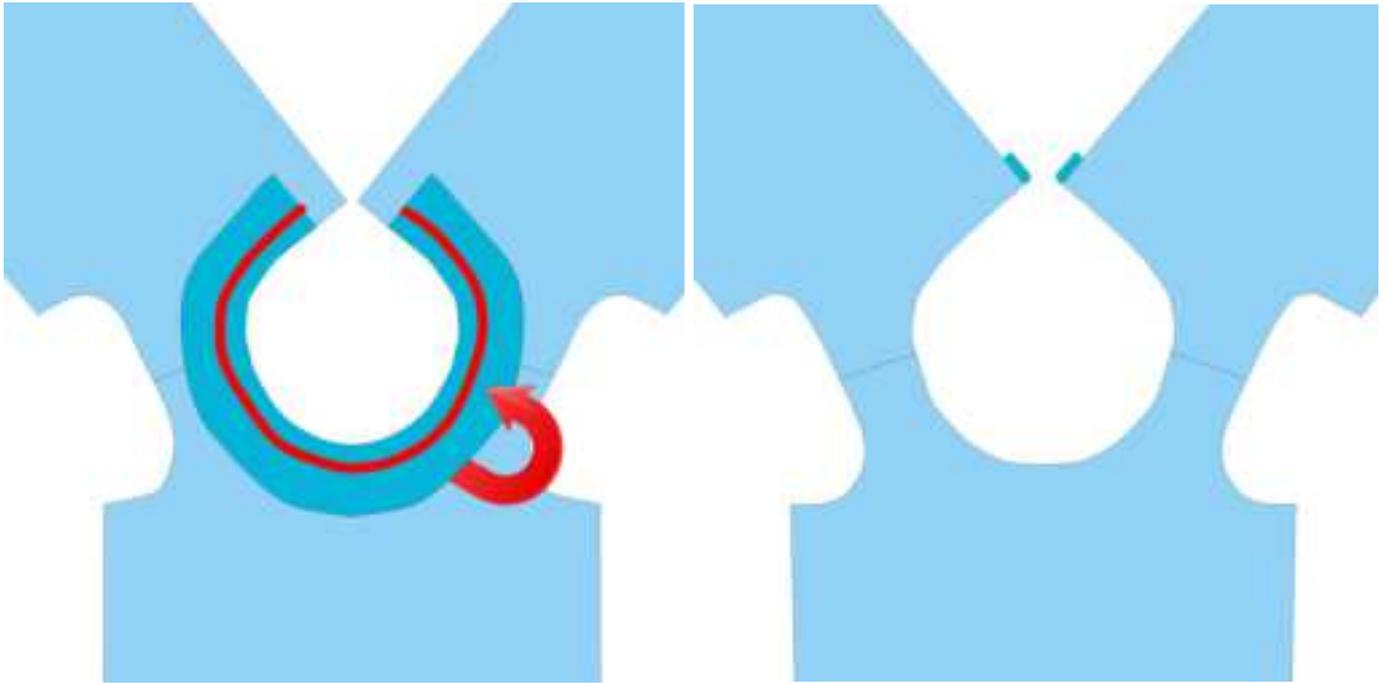
15. 表が内側になる様に、見返しと身頃を合わせて縫う。



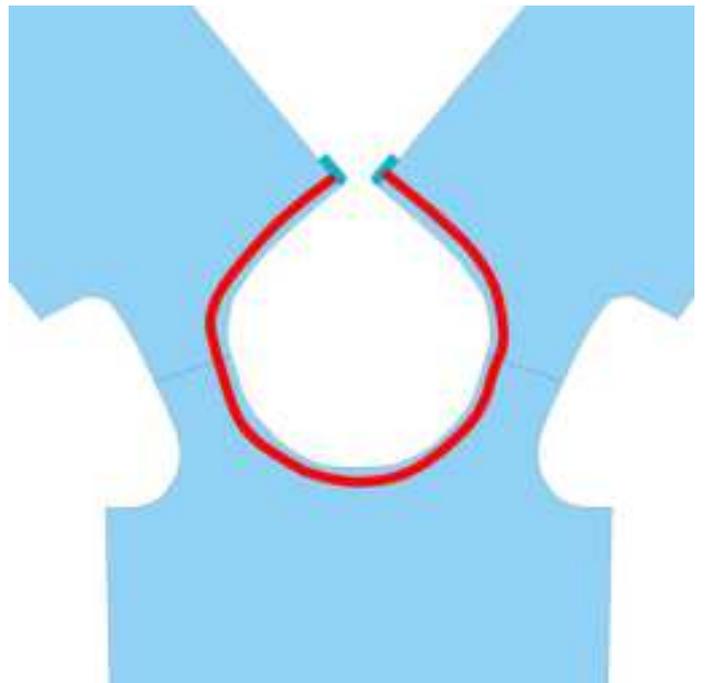
16. 襟のカーブに切り込みを入れる。



17. 見返しを折り返す。



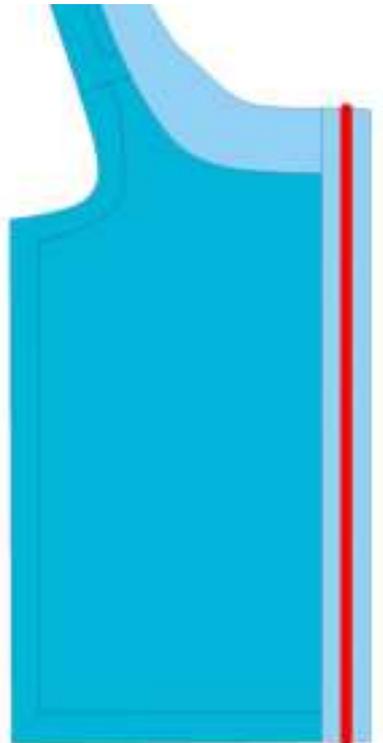
18. 縁を縫う。



19. 後身頃の 谷折り 線で折る。
〔 もう1枚も同じように折る。〕

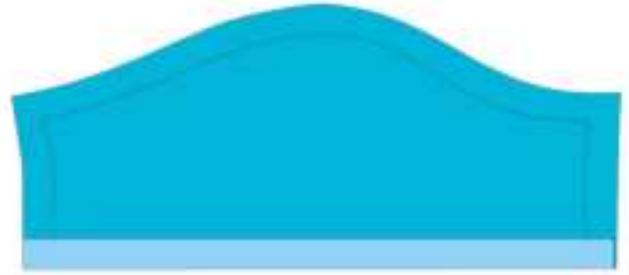
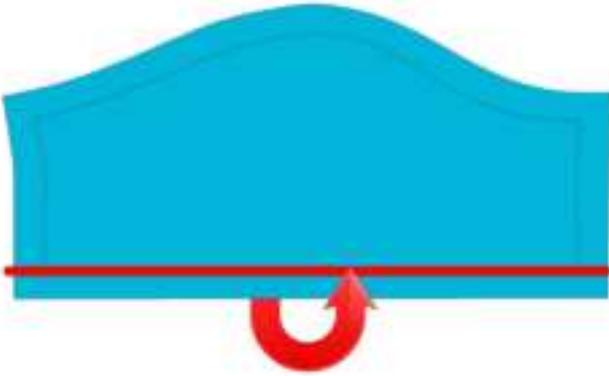


20. 縁を縫う。
〔 端から 0.7cm くらいを縫う。
〔 反対側も同じように縫う。〕



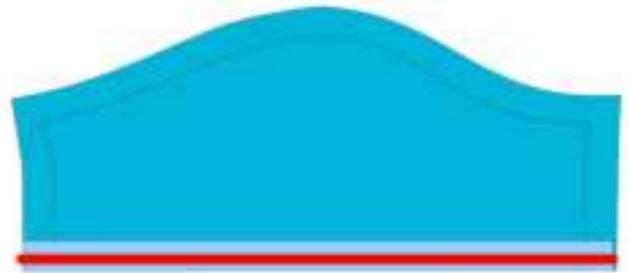
21. 袖口を折る。

〔もう1枚も同じように折る。〕



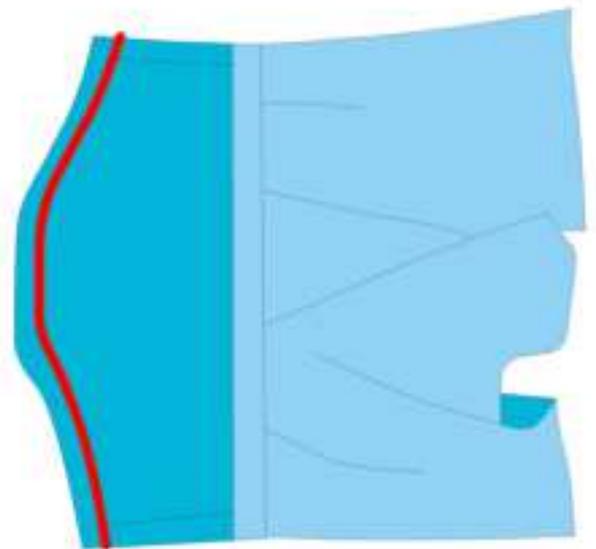
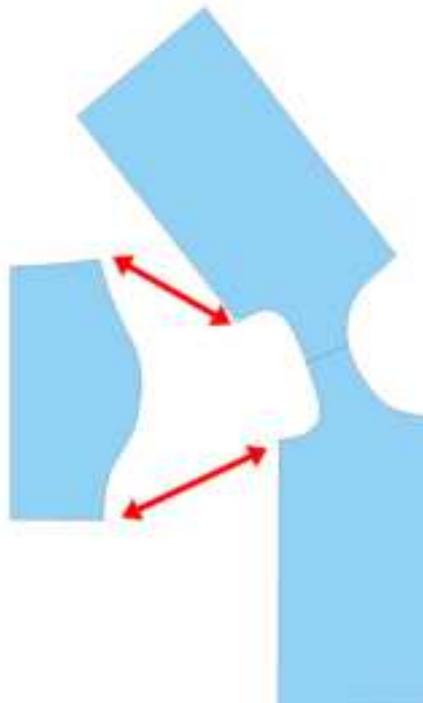
22. 縁を縫う。

〔もう1枚も同じように縫う。〕



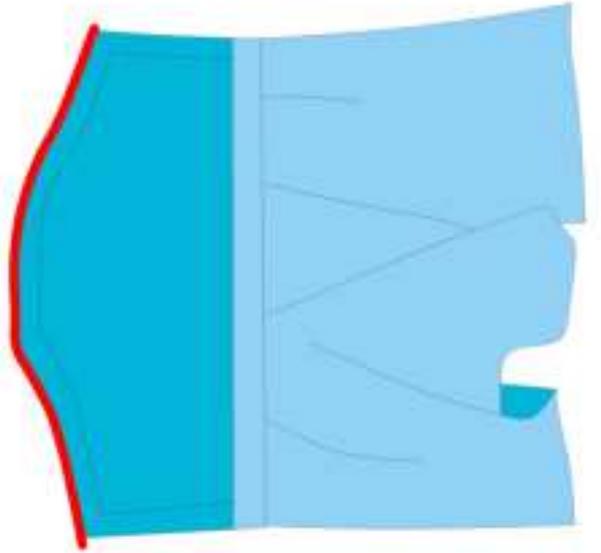
23. 表が内側になる様に、袖と袖ぐりを合わせて縫う。

〔袖ぐり：袖を付ける為の身頃側のカーブ
ミシンで縫い辛い場合は先に仮縫いをするか、
手縫いでもOK。
肩の縫い代は後身頃側に倒す。
反対側も同じように縫う。〕



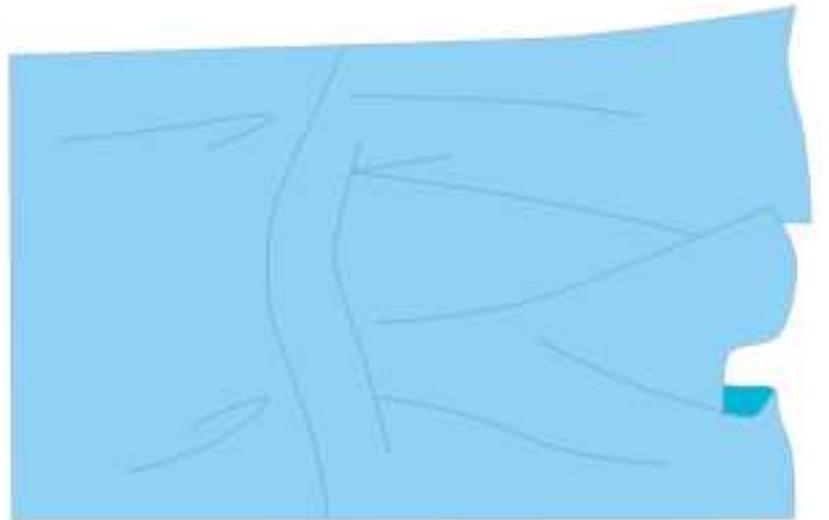
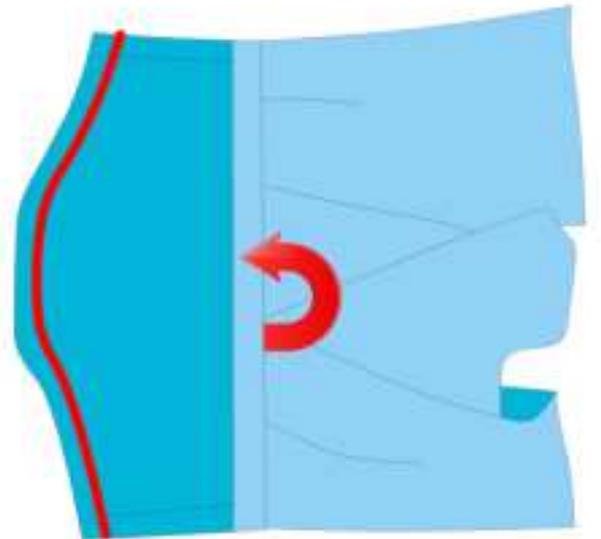
24. 23 で縫った所をロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

- 〔 袖と身頃を一緒に縫う。〕
- 〔 反対側も同じように縫う。〕



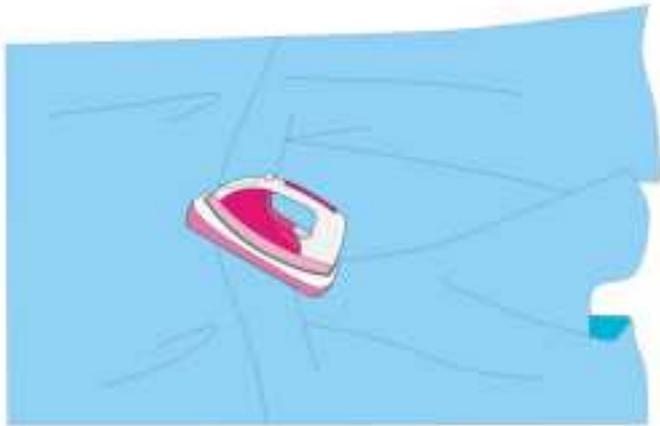
25. 23 で縫ったところを開く。

- 〔 反対側も同じように開く。〕



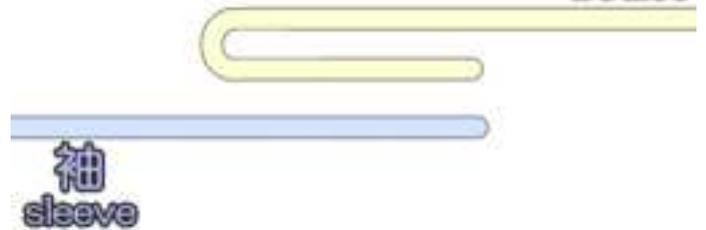
26. 縫い代にアイロンをかける。

縫い代は身頃側に倒す。
反対側も同じようにアイロンをかける。

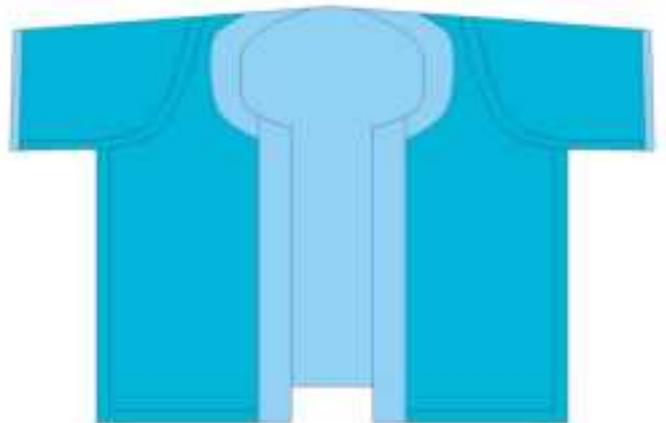


横から見た時
side view

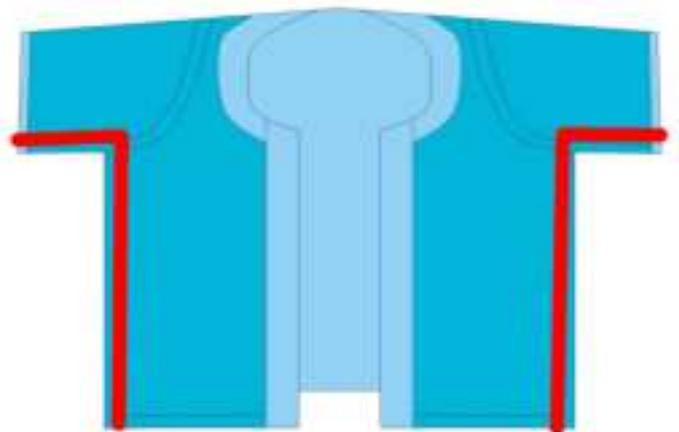
身頃
bodice



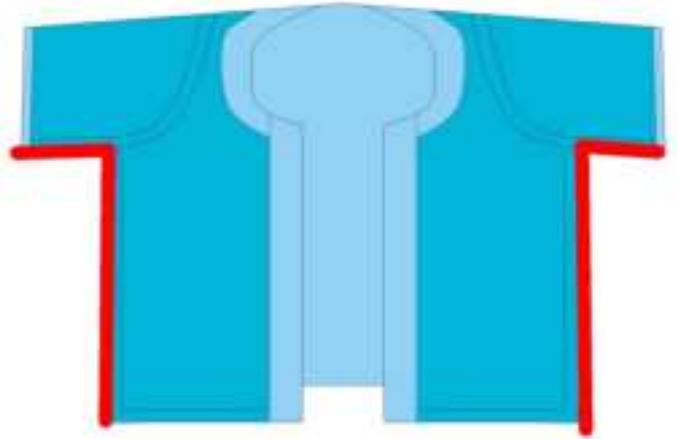
27. 表が内側になる様に半分に折る。



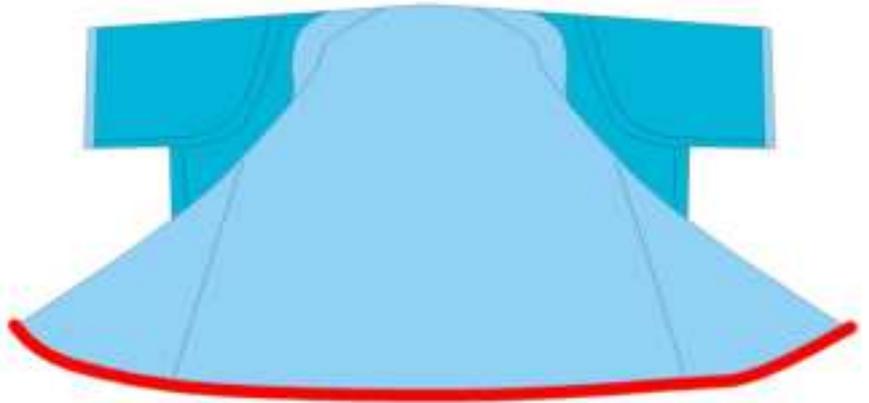
28. 袖口から裾までを縫う。



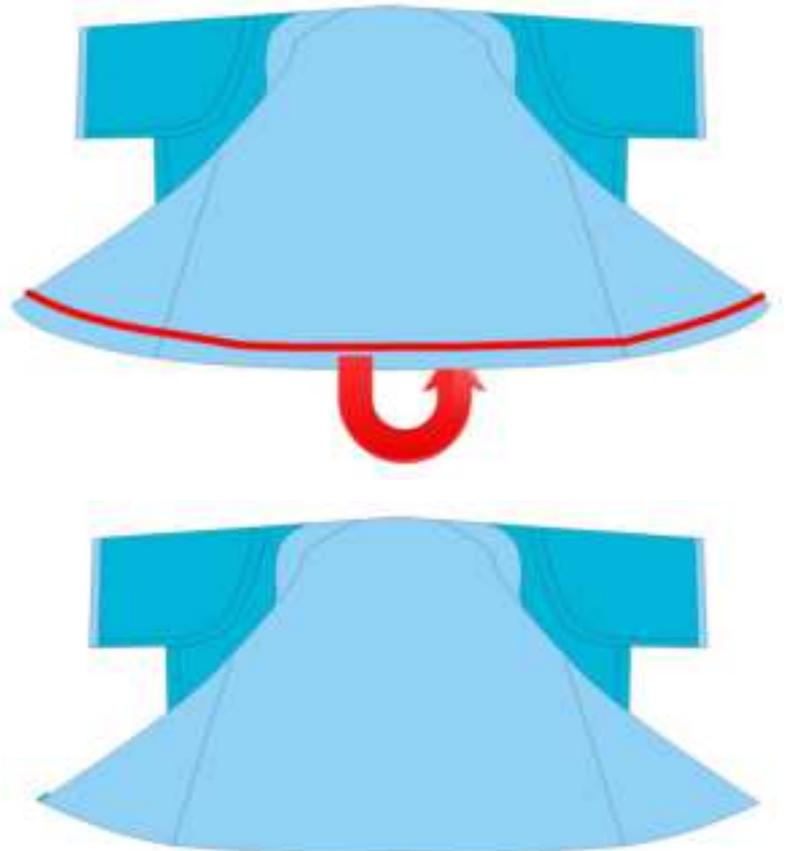
29. 28 で縫った縫い代に、
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。



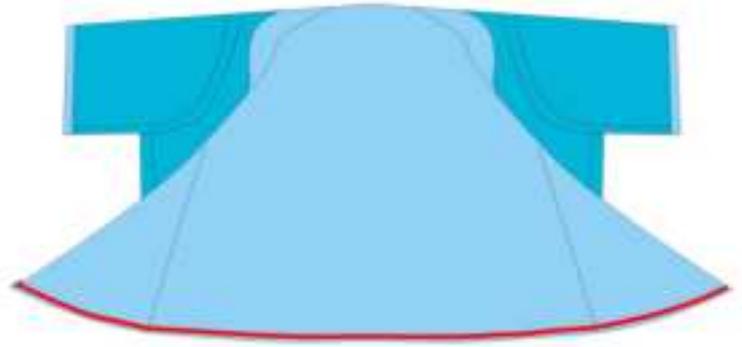
30. 縫った所をロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。
〔 縫い代は後頃に倒す。〕



31. 裾を出来上がり線で折る。

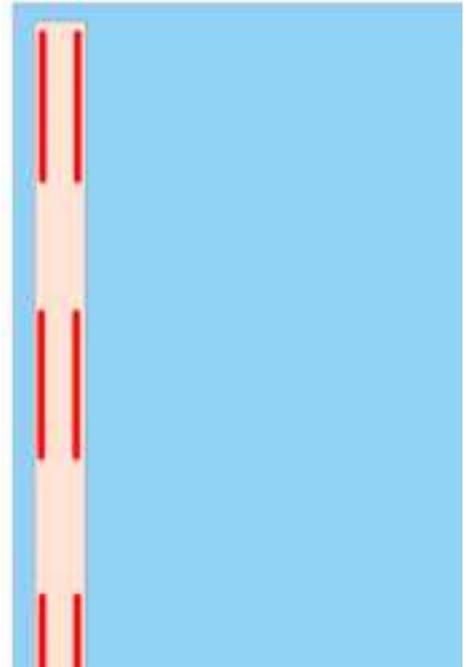


32. 出来上がり線で折って縫う。

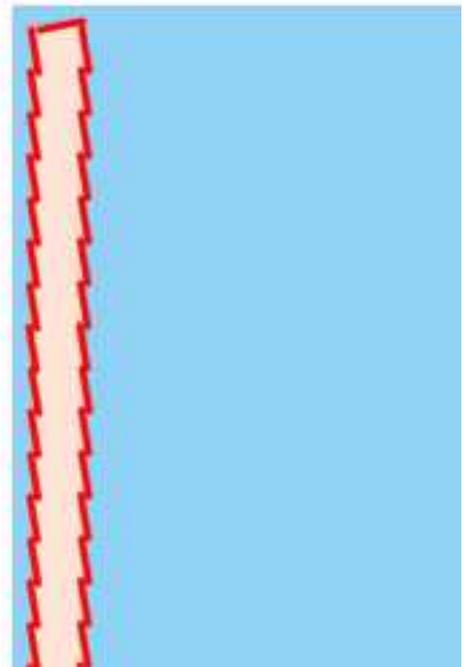


33. 表に返す。

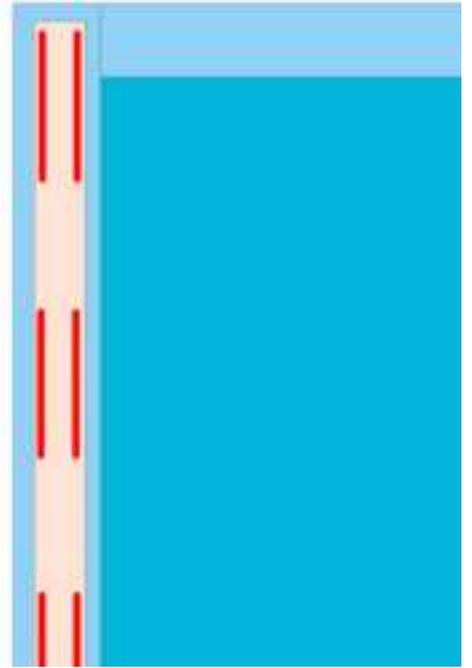
34. 後身頃右側の縫い代に、面ファスナーをしつけ糸で仮縫いする。



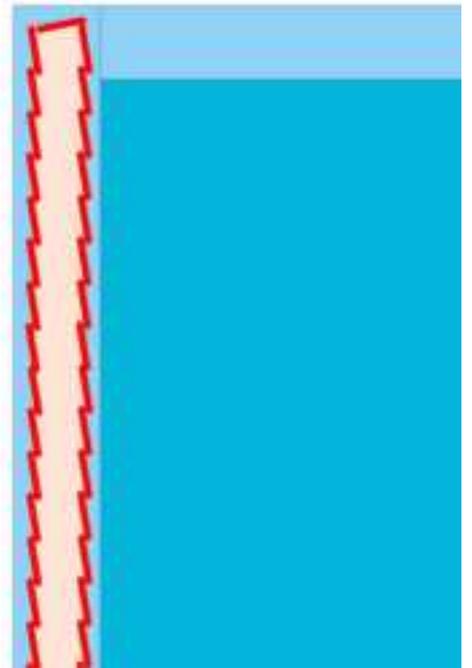
35. 34 で仮縫いした面ファスナーの周りを、まつり縫いで付ける。



36. 後身頃左側の縫い代に、面ファスナーをまつり縫いで付ける。



37. 36 で仮縫いした面ファスナーの周りをまつり縫いで付ける。



お疲れ様でした！